

教職コースの受講許可を受けた学生は p.73 ~ 75 の「履修案内」を見ること

カリキュラムの特徴

1 生命化学科科目群には、必修科目、選択科目があります。

必修科目（講義・実験・演習・研究）

生命化学科で学ぶ上で最も基本となる科目。必ずすべて修得すること。

選択科目

各自の必要に応じて履修する科目

（生物資源学科科目群・生物環境システム学科科目群・教職関連科目・コア科目の余剰単位（上限8単位・他学部開講科目を修得した場合は、選択科目として卒業要件に含まれる）

2 領域配属（教職コースを除く）

生命化学科には、「生物化学領域」「食品機能化学領域」「細胞制御化学領域」「環境化学領域」の4領域があります。第6セメスター終了時の進捗チェックを充足すると、第7セメスターから各領域で卒業研究を開始します（配属後に領域を変更することはできません）。

- (1) 第6セメスターに領域配属の希望調査を行い、必要に応じて人数調整の後、配属案が決定されます。
- (2) 領域配属は定員制とします。これは学生が特定の領域に偏ることを避け、教育の質を維持するためです。具体的な人数は改めて連絡します。
- (3) 「担任指導」などの時間を利用して、領域に関する情報提供をするほか、第5セメスター終了時に領域紹介ガイダンスを行う予定です。詳細は改めて連絡します。

卒業要件


卒業要件を充足した場合は、学位として学士（農学）が与えられます。

- ① コア科目のうち、全人教育・FYE科目群9単位を修得していること。
- ② コア科目のうち、言語表現科目群・社会文化科目群・自然科学科目群・総合科目群の各科目群から4単位以上を含み、24単位以上（上限32単位まで）を修得していること。
- ③ 生命化学科科目群の必修講義科目36単位を修得していること。
- ④ 生命化学科科目群の必修科目の実験・実習・演習・研究科目（卒業研究を除く）16単位を修得していること。
- ⑤ 卒業研究4単位を修得していること。
- ⑥ 上記要件を充足して、合計124単位以上を修得していること。

卒業までの単位配分

卒業に必要な最少単位数は、第1 Semesterから第8 Semesterまで、合計124単位で、生命化学科の場合その内訳は次のとおりです。

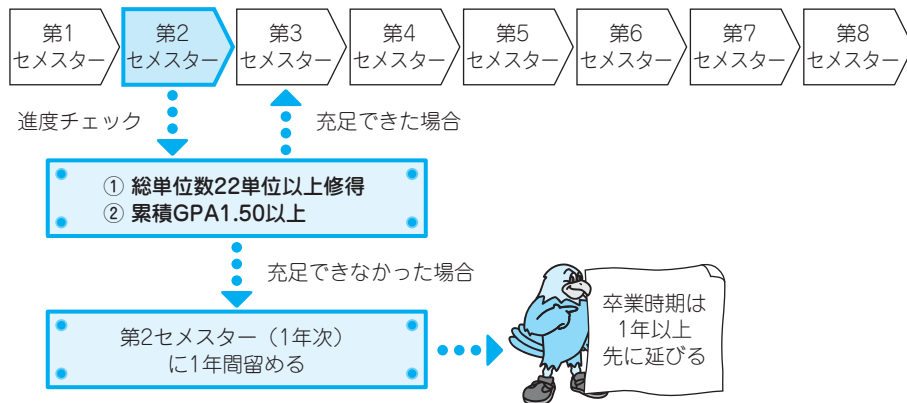
コア科目	
全人教育・FYE科目群 言語表現・社会文化・自然科学・総合科目群	9単位 24単位以上(各科目群から4単位以上、上限32単位)
生命化学科必修科目	56単位
必修講義科目 必修実験・実習・演習・研究科目	36単位 20単位(卒業研究を含む)
選択科目	任意
生命化学科選択科目 他学部・他学科開講科目 教職関連科目 コア科目の余剰単位(上限8単位) 他大学との単位互換科目	
計	124単位以上 (ただし、32単位を超えるコア科目：言語表現・社会文化・自然科学・総合各科目群の単位数はこの合計に含まない)

 コア科目の余剰単位の扱い
p. 41

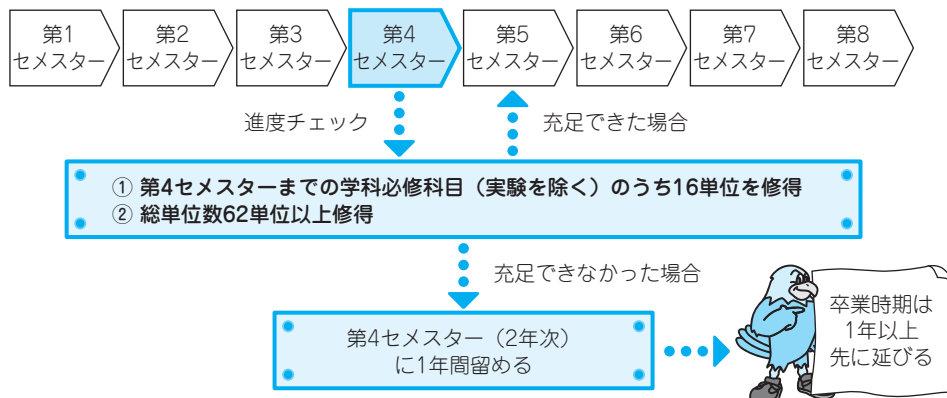
進捗チェック

第2 Semester、第4 Semesterおよび第6 Semester終了時に単位修得状況の確認が行われ、履修条件を満たさない場合は、確認時の Semesterに1年間留まります。

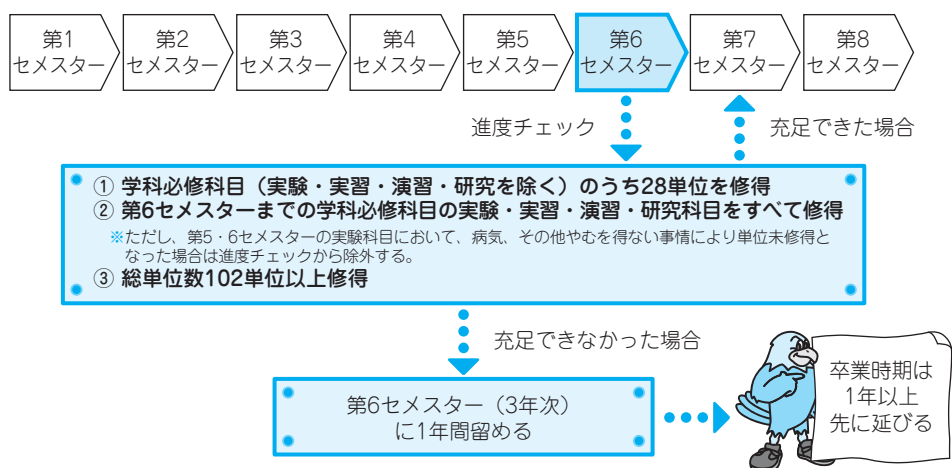
1 第2 Semester (1年次) 終了時における進捗チェック



2 第4 Semester (2年次) 終了時における進捗チェック



3 第6セメスター（3年次）終了時における進捗チェック



履修上の留意事項

- (1) コア科目のうち、農学部生が履修してはいけない科目は次の2科目です。
「生物学入門」「化学入門」
- (2) 各学科の時間割中、◇のマークで示した科目は、抽選のないコア科目です。

◇「総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 ◇「英語コミュニケーション」	コア・言語表現科目群
（農学部では英語を重視していますが、必修科目ではありません）	
◇「データ処理入門」「地球科学」「宇宙科学」 「環境科学」	コア・自然科学科目群 コア・総合科目群
（各学科の「重点科目」ですが、必修科目ではありません）	

- これらの科目については、履修登録の際、他の学科科目と同様に登録してください（抽選を行いません）。ただし、「データ処理入門」と「英語コミュニケーション」は定員制です。
- (3) 修得済みの科目については、原則として再履修することはできません。
ただし、第2セメスターの進捗チェックで履修条件を満たせずに第2セメスターに留まった場合には、第1セメスター、第2セメスターに修得した農学部開講講義科目のうちC評価科目を再履修することができます（実験・実習科目、コア科目は再履修できません）。
再履修によってB以上の評価を得られた場合には、再履修の評価結果をもってその科目の評価とします。その結果、GPAの数値を上げることが可能です。
 - (4) 「卒業研究」は、第7セメスター・第8セメスターともに必ず履修登録してください。
 - (5) 時間割（時間帯・教室など）については変更等をお知らせする場合がありますので、掲示を十分確認してください。
 - (6) 教職関連科目群の科目は、農学部教職コースの受講許可を受けた学生だけが履修することができます（「日本国憲法」を除く）。